



2021年10月9日(土)

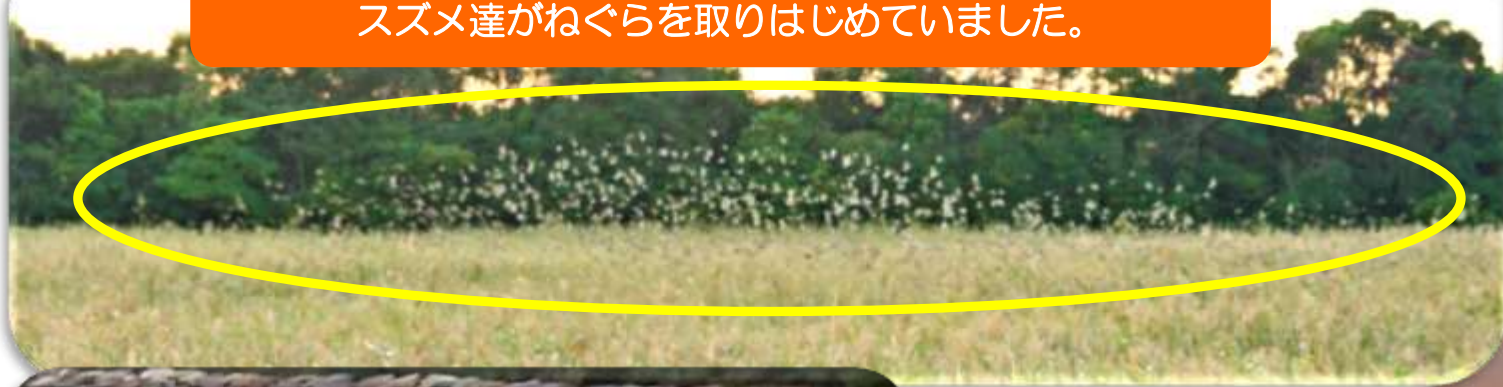
# ショウドウツバメの ねぐら入り観察会

日本では北海道で繁殖するショウドウツバメが南へと渡る途中、きらら浜のヨシ原でねぐらをとります。ツバメも含めると“1万羽”という壮大なねぐら入りの様子を観察しました。その様子をご覧ください。

まずは簡単にショウドウツバメについてお話しをしてすぐにヨシ原へと出かけました。



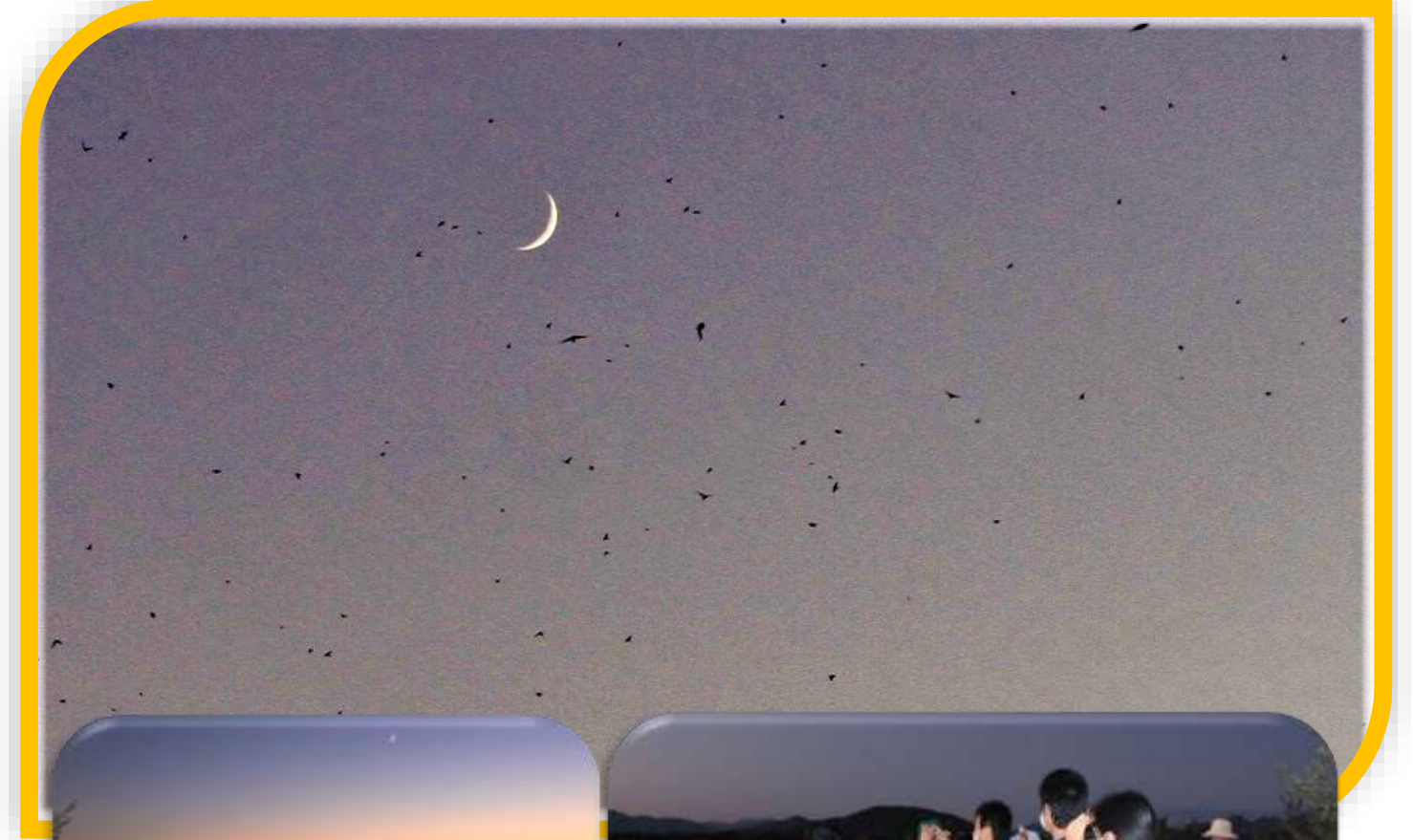
17:20 ヨシ原ではショウドウツバメやツバメより早くスズメ達がねぐらを取りはじめていました。



干潟では杭でねぐらを取るため、ダイサギが続々と集まりでしました。



18:00 ツバメとは別に、少し遅れるようにしてショウドウツバメの数千羽の群れが夕空に広がり“圧巻”な「夕暮れのバードショー」を観察することができました。



“ヨシ原は人間にとって生産性がない”とされ埋め立てられたり、農地に変えられてしまうこともありますがツバメの仲間や、スズメの貴重なねぐらとなっています。「生き物との共存」を考える良い教材ではないでしょうか？ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

